

【第1号議案】

## 平成28年度事業報告書案

自 平成28年 4月 1日  
至 平成29年 3月31日

一般社団法人 日本包装機械工業会

## 目 次

ページ

3	1. 概況報告
	2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業
	1) 調査情報に関する事業
4	2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業
	3) 包装学校の開講に関する事業
5	4) 技術センターに関する事業
7	5) 検査センターに関する事業
9	3. 総会、理事会、歳末特別講演会、創立50周年記念式典・ 記念祝賀会、支部会、委員会等の開催に関する事業
	1) 平成28年度定時総会の開催
	2) 理事会の開催
10	3) 歳末特別講演会の開催
	4) 創立50周年記念式典の開催
	5) 創立50周年記念祝賀会の開催
11	6) 支部会の開催
	7) 委員会の開催
19	4. 生産性向上設備投資促進税制ならび中小企業等経営強化法に 係る証明書発行に関する事業
20	5. 包装機械会館の運営に関する事業
	6. 関連産業との交流に関する事業
	7. 福利厚生に関する事業
	8. 会員の現況

## 1. 概況報告

わが国包装機械産業の平成27年度の生産実績は4,084億円で、対前年度比1.9%の伸びであった。平成28年度においても、機械統計（経済産業省）の生産高では暦年ベースで2.7%増、貿易統計（財務省）の輸出高も同様に1.7%増で推移しており、弱気で見られていた当初計画の4,029億円は達成できる見込みとなっている。

当会は平成24年4月1日に一般社団法人日本包装機械工業会としてリスタートし、平成28年度はその5年度目であったが、調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの公益目的事業をはじめ、総会、理事会、支部役員会・支部会、各種事業委員会等の共益事業、展示会開催、カタログ集発行、包装機械会館運営等の収益事業を積極的に実施し、わが国包装機械産業の経営基盤安定化、技術高度化、グローバル化の推進に努めた。

## 2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業

当会は4年前の4月に一般社団法人に移行し、内閣府公益認定等委員会から認定された約2億4千万円の公益目的財産額を調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの5つの事業に支出してきた。

平成28年度も前年度に引き続き、上記5つの公益目的事業を実施し、約3,450万円を公益目的のために支出した。その結果、残りの公益目的財産額は約3,760万円となり、平成29年度に公益目的事業を実施することで、公益目的財産額の支出事業が終了する予定である。

### 1) 調査情報に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

#### (1) 上海包装機械現法懇話会の活動

上海包装機械現法懇話会は、中国に進出している会員企業を対象とした各種セミナーを開催し、懇話会会員間の問題解決、情報交換、懇親に努めた。

##### ※第1回 学習会

月 日：平成28年10月18日（火）

会 場：日中経済協会 上海事務所会議室

講 師：世達志不動産投資顧問（上海）有限公司（日本本社名 スターツ不動産）  
中野晶仁 理事長 総経理

テーマ：上海と中国の不動産事情

##### ※第2回 セミナー

月 日：平成29年2月13日（月）

会 場：上海世貿商城（上海マート）7F D会議室

講 師：安翊青 弁護士（上海里格法律事務所 所長）

上海市人力資源社会保障局 蔡処長

テーマ：外国人就労許可に関する新制度

※第3回 視察会

月 日：平成29年3月6日（月）

視察先：上海四国食品包装機械有限公司様

場 所：上海市松江工業区洞涇路18号

**(2) 知的所有権の保護、模倣品対策の活動**

経済産業省、特許庁、ジェトロ等の関連機関との連携の下、わが国包装機械産業の知的所有権保護（営業秘密）に関する情報を、会員企業をはじめ広く一般への情報提供に努めた。

**(3) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査**

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、平成27年度の生産高と輸出入高ならびに平成28年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

**(4) 各種資料・情報の収集・公開**

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

**2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業**

当会機関紙「包装機械新聞」を毎月1回（15日）発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

**3) 包装学校の開講に関する事業**

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第43期包装学校を開講した。本年度は、平成28年6月の開講式・オリエンテーションから平成29年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第43期までの修了者は4,506名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第43期包装学校の課程別受講生（計134名）

1) 包装機械設計技術専門課程 77名

2) パッケージングエンジニア専門課程 48名

3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 9名

①Visual Basic 講座 ②C言語講座 ③PLC制御講座

**【第1期から第43期までの受講生数、修了者数】**

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数 (人)		修了者数 (人)	
	43期	1~43期計	43期	1~43期計
1. 包装機械設計技術課程	77	2,630	77	2,561
2. パッケージングエンジニア課程	48	1,860	47	1,768
3. マイコン制御技術課程	9	257	6	177
合 計	134	4,747	130	4,506

※第92回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成28年6月2日（木）  
会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

※第43期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：平成28年6月23日（木）～24日（金）  
会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

※第93回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成28年9月6日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

※第94回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成29年2月2日（木）  
会 場：包装機械会館 会議室

#### 4) 技術センターに関する事業

工業会の技術事業のあり方を検討し、技術センター、検査センターの事業方針を決定するために技術委員会を発足させるとともに、EN415規格の調査研究を行った。

##### (1) 技術委員会

包装機械を取巻く環境変化に対する対応及び包装機械の安全規格に対する方針を検討した。

※第1回技術委員会

月 日：平成28年7月5日（火）  
会 場：包装機械会館

包装機械を取巻く状況変化、及び包装機械の規格について検討

※第2回技術委員会

月 日：平成28年10月20日（木）  
会 場：本丸ホール セミナー会場（名古屋）

産産、産学の共同研究について検討

※第3回技術委員会

月 日：平成 29 年 2 月 9 日（木）

会 場：包装機械会館

産学、産産の共同研究事業の進め方を検討

※見学会の実施

月 日：平成 28 年 10 月 20 日、21 日（木、金）

訪問先企業：豊田自動織機（高浜工場）、三菱電機（名古屋工場）

物流の先端技術、及びものづくり工程の最適化と生産革新技術見学

※アンケート調査の実施

PLC の国際標準プログラミング（IEC61131-3）および PackML（PLC の包装機械言語）の認知度、機械安全について、正会員を対象にアンケートを実施し、アンケート結果を包装機械新聞 3 月号に掲載した。

アンケートで、国際標準プログラミングを、機械メーカー・ユーザー双方に認させていかないといけないことが分かった。

## （2）EN規格に関する調査研究委員会

### 1）EN規格に関する調査研究ワーキンググループ（WG）の開催

EN規格はウィーン協定によりISO規格として提案され、ISO規格はWTO/TBT協定により各国の国家規格となる。よって、EN415もISOに提案される可能性がある。

当会では平成25年度から「EN415規格調査研究委員会」（委員長：榎屋治紀氏 システム技術研究所所長）を発足させ、EN規格の安全規格構成（用語の定義、危険源、安全要求事項と方策、検証、使用上の情報）についての調査を開始した。

平成25・26年度は委員会形式で、EN415-3、5、7および全体に関係しているEN415-1、10の調査研究を、平成27年度はEN415-6、8およびEN415-1、10の調査研究を少人数のワーキンググループ（WG）型式で行った。

平成28年度は、EN415-2（容器充填包装機）を中心に、全体に関係しているEN415-1、10について、用語、定義、箇条の解釈等の課題抽出を、ワーキンググループ形式で行った。

そして疑問点・修正案・追加案等を討議し、検討結果として報告書にまとめた。

※第1回EN415規格調査研究WG

月 日：平成28年9月7日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第2回EN415規格調査研究WG

月 日：平成28年11月18日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

※第3回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成29年2月3日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

- EN415-1 用語と分類
- EN415-2 容器充填包装機
- EN415-3 製袋充填包装機
- EN415-4 パレ、デパレタイザー
- EN415-5 ラッピング機
- EN415-6 パレット包装機
- EN415-7 複合、二次的包装機
- EN415-8 ストラッピング機
- EN415-9 騒音測定方法
- EN415-10 一般的要求事項

## 2) 「EN415-9 (包装機械の騒音測定方法) セミナー」の開催

全委員を対象にEN415-9の記載内容についてのセミナーを東京都立産業技術研究センターに依頼し、開催した。

月 日：平成29年2月21日(火) 13時～17時

会 場：東京都立産業技術研究センター

講 師：宮入 徹氏(開発本部 光音技術グループ 副主任研究員)

対 象：平成25～28年の委員全員(事務局含め24名)

- 内 容：
- ・騒音測定概要(音の大きさ、騒音の評価量)
  - ・EN415-9の規格概要
  - ・作業位置及び他の指定位置の放射音圧レベル測定の概要
  - ・作業位置及び他の指定位置の放射音圧レベル測定方法
  - ・音響パワーレベル測定の概要
  - ・音響パワーレベル測定方法
  - ・報告書への記載事項
  - ・見学(半無響室)

## (3) 包装技術相談と引き合いの斡旋

包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努めた。

## (4) 包装・荷造機械製造業における「職業能力の体系」の整備等に関する調査研究への協力

平成27年度の、独立行政法人職業能力開発総合大学校基盤整備センター(以下基盤整備センター)の表記調査研究事業に、当会会員企業と事務局が協力した。

その調査研究報告書を、平成28年8月に会員に配布した。

注：この調査研究報告書はWebでも公開している。

## 5) 検査センターに関する事業

包装・荷造機械検査センターは、包装機械および関連機器の安全性・衛生性の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの

信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを目的として1987年（昭和62年）3月に設立された。

## **（1）安全・衛生検査及び指導事業**

### 1）検査業務の見直し

欧州の機械指令の普及、日本においても機械安全JIS規格の普及、安全／衛生意識の向上に伴い1990年頃の包装機械に較べ格段にレベルが向上しており、2007年以降安全・衛生検査を受検する会社が激減している。

従って、検査センター発足当時の役割は果たせたと判断し、安全・衛生検査業務は平成29年3月末をもって終了することにした。

これに伴い、平成28年12月時点で検査合格の機械は、更新検査を受検しなくても平成31年8月末まで検査合格としている。

### 2）安全・衛生指導事業

機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

## **（2）警告マークの頒布**

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布した。

英語版は国際規格（IEC82079-1:2012）に則っていないことが判明したので、平成29年2月中旬で販売を中止した。

## **（3）PASSマークの頒布**

当会の安全・衛生検査に合格した製品に表示する、PASSマークを頒布した。尚、検査業務の見直しに伴い、PASSマーク頒布業務も順次終了することにした。検査業務見直しの件は、検査合格の会社へ書面を送付し了承を得た。

## **（4）EMC測定器のレンタル事業終了の件**

使用実績の減少および測定器の老朽化により、平成28年11月で貸出業務は終了とした。

## **（5）包装・荷造機械の衛生基準－201X 素案作成**

現行の「包装・荷造機械の衛生基準－1999」の改定に向けて、素案を作成した。

平成29年度は、改定委員会を立ち上げ、素案をもとに審議し「包装・荷造機械の衛生基準－201X」を発行する予定。

## **（6）厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の計画**

日本包装機械工業会は日本機械工業連合会、職業能力開発総合大学校、高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催すべく関係者で協議を進めている。

### 1）開催場所

- |                        |                                       |
|------------------------|---------------------------------------|
| 関東：高度ポリテク又は職業大         | 関西：ポリテク関西                             |
| 2) 倫理・法令・機械安全編（2日）     | 10月末以降で調整中                            |
| 3) 機械の安全設計1（2日）        | 同上                                    |
| 4) 機械の安全設計2（2日）        | 同上                                    |
| 5) 電気と制御システムの安全設計編（2日） | 関東：平成30年2月14・15日<br>関西：平成30年3月14日・15日 |

### (7) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

#### 「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の計画

平成29年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し下記予定で開催することになった。

関東会場	高度ポリテクセンター	平成29年12月5・6日
関西会場	ポリテクセンター関西	平成30年1月16・17日

### 3. 総会、理事会、歳末特別講演会、創立50周年記念式典・

#### 記念祝賀会、支部役員会・支部会、委員会等の開催に関する事業

平成28年度事業計画に基づき、総会、理事会、創立50周年記念式典・記念祝賀会、支部役員会・支部会をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

#### 1) 平成28年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、平成27年度事業報告案の審議・承認、平成28年度事業計画の報告を行った。

月 日：平成28年5月25日（水）  
会 場：浅草ビューホテル 会議室（東京都台東区）

#### 2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、平成28年5月（2回）、9月、12月、平成29年3月の計5回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の実務執行状況等の確認・審議・承認を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

##### ※第330回理事会

月 日：平成28年5月25日（水）  
会 場：浅草ビューホテル 会議室（東京都台東区）

##### ※第331回理事会

月 日：平成28年5月25日（水）  
会 場：浅草ビューホテル 会議室（東京都台東区）

##### ※第332回理事会

月 日：平成28年9月14日（水）  
会 場：包装機械会館 会議室

##### ※第333回理事会

月 日：平成28年12月6日（火）  
会 場：道後館 会議室（愛媛県松山市）

※第334回理事会

月 日：平成29年3月28日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

### 3) 平成28年度歳末特別講演会の開催

事業計画に基づき、平成28年度歳末特別講演会を開催した。

※平成28年度歳末特別講演会

月 日：平成28年12月6日（火）  
会 場：道後館 会議室（愛媛県松山市）  
テーマ：「いで湯と城と文学の町、松山」について  
講 師：松本 啓治 氏  
愛媛大学 社会連携推進機構 アーバンデザイン研究部門教授  
元・松山市役所「坂の上の雲づくり」担当部長

### 4) 創立50周年記念式典の開催

事業計画に基づき、平成29年1月16日（月）に表彰受賞者、当会会員、関係官公庁、金融関係、関連団体、報道等の方々370名をお招きして、創立50周年記念式典を挙行了した。

月 日：平成29年1月16日（月）  
会 場：パレスホテル東京 2階「葵」  
式次第：開会の辞 古城 美武（一般社団法人日本包装機械工業会副会長）（創立50周年記念事業委員会委員長）  
式 辞 大森 利夫（一般社団法人日本包装機械工業会会長）  
来賓祝辞 糟谷 敏秀氏（経済産業省製造産業局長）  
表 彰 式 （経済産業大臣表彰、製造産業局長表彰、業界発展特別功労表彰、栄誉功労表彰、永年役員功労表彰、業界発展功労表彰、工業会発展功労表彰、永年会員功労表彰、永年勤続事務局職員表彰）  
閉会の辞 川西 勝三（一般社団法人日本包装機械工業会副会長）

### 5) 創立50周年記念祝賀会の開催

事業計画に基づき、平成29年1月16日（月）、表彰受賞者、当会会員、関係官公庁、関係団体、報道等の方590名の出席を得て、株式会社日本包装リース平成29年新年賀詞交歓会と合同の当会創立50周年記念祝賀会を開催した。

月 日：平成29年1月16日（月）  
会 場：パレスホテル東京 2階「葵」  
式次第：主催者挨拶 大森 利夫（一般社団法人日本包装機械工業会会長）  
岡部 孝之（株式会社日本包装リース社長）

来賓祝辞 片岡隆一氏（経済産業省製造産業局産業機械課長）  
乾杯 亀田 稔（一般社団法人日本包装機械工業会副会長）  
閉会の辞 梅森 輝信（一般社団法人日本包装機械工業会副会長）

## 6) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として関東支部会、関西支部会、中部支部会を開催し、平成28年度事業報告案ならびに平成29年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、平成29年度事業計画への反映に努めた。

### ※第38回関東支部会

月 日：平成29年3月14日（火）  
会 場：包装機械会館 会議室

### ※第39回中部支部会

月 日：平成29年3月15日（水）  
会 場：芳蘭亭（愛知県名古屋市）

### ※第56回関西支部会

月 日：平成29年3月16日（木）  
会 場：鳥よし本店（大阪市中央区）

## 7) 委員会の開催

事業計画に基づき、創立50周年記念事業委員会、セミナー企画委員会、青年部会、国際委員会、JAPAN PACK 2017 実行委員会、広報・販売委員会、特許研究会、IT委員会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

### (1) 創立50周年記念事業委員会

創立50周年記念事業委員会（委員長：古城 美武氏、城南自動機株式会社社長、平成26年度発足）の下で、記念式典・記念祝賀会事業委員会（副委員長：本多宗隆氏澁谷工業株式会社常務取締役）は平成29年1月16日の創立50周年記念日の記念式典・記念祝賀会の概要、表彰対象者の選考等、記念誌編纂事業委員会（副委員長：上月清氏 株式会社ケーテー製作所社長）は、記念誌・映像編DVD・資料編CDの編纂事業を推進した。

### ※第2回創立50周年記念式典・記念祝賀会委員会

月 日：平成28年4月19日（火）  
会 場：包装機械会館

備 考：表彰規程案の一部修正・制定、表彰対象者選考基準の制定

### ※第3回創立50周年記念式典・記念祝賀会委員会

月 日：平成28年7月6日（水）  
会 場：包装機械会館

備 考：表彰規程案ならびに表彰対象者選考基準案の承認、表彰対象者の選考

※第2回創立50周年記念事業委員会

月 日：平成28年9月8日（木）

会 場：包装機械会館

備 考：表彰規程案の一部修正・制定、表彰対象者選考基準の制定、  
表彰対象者の選考

※第3回創立50周年記念事業委員会

月 日：平成28年11月2日（水）

会 場：馬事畜産会館

備 考：表彰規程の一部修正・制定、表彰対象者選考基準の一部修正・  
制定、表彰対象者の選考・決定

(2) セミナー企画委員会

セミナー企画委員会（委員長：神谷泰仁氏 マキー・エンジニアリング株式会社社長）は、事業承継・相続・M&A・税務・金融、危機管理、貿易実務、技術提携、IT、技術等のテーマ別、また、経営者・幹部、中堅・若手・新入社員等の階層別セミナー開催を立案し、会員企業役職員のスキルアップを図ると共に、当会事業活動の広く一般への啓蒙を図ることを目的として、活動している

今年度開催行事ならびにセミナーは次のとおりである。

※第5回セミナー企画委員会

月 日：平成28年8月2日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第4回セミナー・ワークショップ

月 日：平成28年9月2日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

テーマ：『人材活躍支援』セミナー

～OMORIの女性活躍支援取組事例について～

講 師：大森 頼子氏 大森機械工業株式会社 営業本部マーケティング室

小池 幸子氏 大森機械工業株式会社 技術生産本部

第1事業部 第1機械設計部

仲田知恵子氏 大森機械工業株式会社 技術生産本部エンジニアリン

グ事業部

定 員：50名（先着順）

参加費：無料

(3) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：高井文彦氏 日本ポリスター株式会社社長）は、総会、幹事会、セミナー、情報交換会開催等を通じて、会員相互の研鑽に努めた。なお、本年度は当会創立50周年を記念して、青年部会OB／現役会員に加えて理事、創立50周年記念事業

委員等へも案内のうえ、創立50周年記念パーティを実施した。理事会における提言や入会案内資料の刷新等を通じて、部会員増強にも尽力の結果、8名の新規入会者を獲得した。

※平成28年度総会

月 日：平成28年5月17日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※講演会

月 日：平成28年5月17日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

講 師：金澤 信 氏 一般社団法人日本包装機械工業会 事務局長

主 題：経済産業省における政策の紹介や活用事例について

※夏季セミナー

月 日：平成28年8月24日（水）～25日（木）

会 場：ベルエールの森（群馬県吾妻郡）

講 師：増田 文治 氏 株式会社マスダック 代表取締役社長

テーマ：そのお菓子づくりを、もっと美味しく新しく

※工場見学会

月 日：平成28年10月13日（木）

会 場：株式会社イシダ 滋賀事業所

※第62回幹事会

月 日：平成28年11月2日（水）

会 場：包装機械会館 応接室

※一般社団法人日本包装機械工業会 創立50周年記念パーティ

月 日：平成29年1月16日（月）

会 場：ベノア 銀座店

※第63回幹事会

月 日：平成29年2月8日

会 場：包装機械会館 会議室

※工場見学会

月 日：平成29年2月9日（木）

会 場：日本工業刃物株式会社 筑波本部

#### （4）国際委員会

国際委員会（委員長：下島敏章氏 ストラパック株式会社社長）は、平成27年度に引き続いて本年度も海外包装展示会での会員共同出展事業「日本パビリオン」を実施し、米国包装関連団体 PMMI が隔年開催している PACK EXPO International 2016 への第74次 PACK EXPO International 2016 視察団（団長：

異学氏、トキワ工業株式会社営業部次長)の派遣等を通じて、会員企業の海外展開支援および当会活動の海外発信に努めた。なお、技術委員会との連携により、包装機械分野における対外経済関係の拡大に向けた海外調査計画の検討を開始した。

#### ※海外展示会共同出展事業の推進

##### ProPak Asia 2016

会 期 平成28年6月15日(水)～18日(土)4日間

開催地 タイ・バンコク

出展社 株式会社エー・アンド・デイ、大森機械工業株式会社、トキワ工業株式会社、ニッカ電測株式会社、日本ポリスター株式会社、株式会社古川製作所、一般社団法人日本包装機械工業会【以上、6社・1団体／198m<sup>2</sup>】

##### ProPak China 2016

会 期 平成28年7月13日(水)～15日(金)3日間

開催地 中国・上海

出展社 旭化成ケミカルズ株式会社、ストラパック株式会社、ゼネラルパッカー株式会社、ニッカ電測株式会社、一般社団法人日本包装機械工業会【以上、4社・1団体／72m<sup>2</sup>】

##### ProPak Vietnam 2017

会 期 平成29年3月21日(火)～23日(木)3日間

開催地 ベトナム・ホーチミンシティ

出展社 ストラパック株式会社、株式会社ハナガタ、一般社団法人日本包装機械工業会【以上、2社・1団体／27m<sup>2</sup>】

#### ※海外展示会における工業会活動PRの推進

##### ProPak Asia 2016

会 期 平成28年6月15日(水)～18日(土)4日間

開催地 タイ・バンコク

##### ProPak China 2016

会 期 平成28年7月13日(水)～15日(金)3日間

開催地 中国・上海

##### PACK EXPO International 2016

会 期 平成28年11月6日(日)～9日(水)4日間

都 市 米国・シカゴ

##### ProPak Vietnam 2017

会 期 平成29年3月21日(火)～23日(木)3日間

開催地 ベトナム・ホーチミンシティ

※海外視察団の派遣

PACK EXPO International 2016

期 間：平成28年11月6日（日）～10日（木）

都 市：米国・シカゴ

※第36回国際委員会

月 日：平成28年8月2日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

**(5) JAPAN PACK 2017 実行委員会**

JAPAN PACK 2017 実行委員会（委員長：輿水博氏 株式会社横浜自働機社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的として、本年（平成29年）10月にJAPAN PACK 2017（2017日本国際包装機械展）を開催するため、平成28年度においては主に下記の通り本委員会活動を推進して開催準備に努めた。

※展示会行事WG第1回会議

月 日 平成28年4月7日（木）

会 場 ティーオージー貸会議室17階8号室（大阪）

※出展社勧誘検討・実行WG第1回会議

月 日 平成28年5月30日（金）

会 場 包装機械会館 会議室

※第2回実行委員会

月 日 平成28年4月27日（水）

会 場 包装機械会館 会議室

※第5回正副直前実行委員長会議

月 日 平成28年4月27日（水）

会 場 包装機械会館 応接室

※第6回正副直前実行委員長会議

月 日 平成28年5月17日（火）

会 場 包装機械会館 会議室

※出展社勧誘WG第2回会議

月 日 平成28年6月1日（水）

場 所 包装機械会館 会議室

※第7回正副直前実行委員長会議

月 日 平成28年7月6日（火）

会 場 包装機械会館 会議室

※展示会行事WG第2回会議

月 日 平成28年8月30日(火)

会 場 株式会社フジキカイ本社 会議室(名古屋)

※出展社勧誘WG第3回会議

月 日 平成28年9月9日(金)

会 場 包装機械会館 会議室

※第8回正副直前実行委員長会議

月 日 平成28年9月21日(水)

会 場 包装機械会館 応接室

※第3回実行委員会

月 日 平成28年9月21日(水)

会 場 包装機械会館 会議室

※第9回正副直前実行委員長会議

月 日 平成28年11月24日(木)

会 場 包装機械会館 会議室

※展示会行事WG第3回会議

月 日 平成28年11月29日(火)

会 場 生田神社会館 小会場 2階「布引」(神戸)

※展示会行事WG第4回会議

月 日 平成29年1月31日(火)

会 場 トタニ技研工業株式会社 会議室(京都)

※会場WG第1回会議

月 日 平成29年2月3日(水)

会 場 包装機械会館 会議室

※第10回正副直前実行委員長会議

月 日 平成29年2月8日(水)

会 場 包装機械会館 応接室

○第4回実行委員会

月 日 平成29年2月8日(水)

会 場 包装機械会館 会議室

※DM・電話によるPR活動

ニュースリリース発送(平成28年6月上旬)

会員企業、前回展出展社へ出展案内発送(平成28年6月13日)

「JAPAN PACK 2017」出展関係アンケート実施(平成28年6月下旬)

出展案内発送→電話フォロー(平成28年8月22日～9月9日)

出展案内発送→電話フォロー(平成28年11月14日～11月30日)

出展案内発送→電話フォロー(平成29年1月27日～2月24日)

※展示会／直接訪問によるPR活動

FOOMA JAPAN 2016 (平成28年6月・東京ビッグサイト)  
ProPak Asia 2016 (平成28年6月・バンコク)  
Thai Frozen Food Association (TFFA) (平成28年6月・バンコク)  
Thai Food Processors' Association (TFPA) (平成28年6月・バンコク)  
Food Science and Technology Association (FoSTAT) (平成28年6月・バンコク)  
スマートファクトリー2016 (平成28年6月・東京ビッグサイト)  
第29回インターフェックスジャパン (平成28年6～7月・東京ビッグサイト)  
ProPak China 2016 (平成28年7月・上海)  
Zhejiang Health Products Association (平成28年7月・上海)  
Jiangsu Food Industry Association (平成28年7月・上海)  
国際物流総合展 (平成28年9月・東京ビッグサイト)  
フードシステムソリューション2016 (平成28年9月・東京ビッグサイト)  
第27回計量計測展 (平成28年9月・東京ビッグサイト)  
TOKYO PACK 2016 (平成28年10月・東京ビッグサイト)  
食品開発展2016 (平成28年10月・東京ビッグサイト)  
PACK EXPO International (平成28年11月・シカゴ)  
MOBAC SHOW 2017 (平成29年2月・インテックス大阪)  
ProPak Vietnam 2017 (平成29年3月・ホーチミンシティ)

※専門技術セミナー開催

『医薬品業界の現状と規制』

月 日 平成28年9月27日 (火)  
会 場 包装機械会館 会議室  
講 師 杉本 隆之 氏 株式会社ソアズ 代表取締役社長

『GMPとバリデーション』

月 日 平成28年10月20日 (木)  
講 師 杉本 隆之 氏 株式会社ソアズ 代表取締役社長

『医薬品および医療機器等へのGS1標準のバーコード表示』

月 日 平成28年11月25日 (金)  
講 師 植村 康一 氏 一般財団法人流通システム開発センター  
ソリューション第1部ヘルスケア業界  
グループ グループ長

『GMP／バリデーションの基礎』

月 日 平成29年2月28日 (火)  
講 師 平澤 寛 氏 株式会社イーズ 代表取締役社長

『TPPなどのEPAを活用し、チャンスを生かす』

月 日 平成29年3月1日 (水)

講師 長島 忠之氏 ジェトロ海外調査部上席主任調査研究員  
柴原 友範氏 ジェトロビジネス展開支援部  
新興国進出支援課課長代理

※プロモーションビデオ（和英両版）のYouTube公開（平成28年7月10日～）  
＜日本語版＞<https://youtu.be/rn6sjER-eVo> ＜英語版＞<https://youtu.be/5S6CTaMUxIO>

※公式ウェブサイト（出展勧誘向）開設（平成28年9月～）

## （7）広報委員会

広報委員会（委員長：山本治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、平成29年10月3日開会のJAPAN PACK 2017開催準備への協力、PL保険・包装機械総合保険の加入促進、機関紙「包装機械新聞」の発行、株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進などを通じて、会員企業をはじめとするわが国包装機械メーカーの製品広報と販売促進に努めた。

※第1回広報・IT・セミナー合同委員会

月 日：平成28年4月19日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※JAPAN PACK 2017 開催準備への協力

広報委員会の活動を通じて、平成29年10月3日から開催されたJAPAN PACK 2017への来場者動員、併催行事参加者動員などの側面的な協力を実施した。

※インターネット製品PRコーナーへの掲載

当会のホームページに日本語・英語・中国語による企業紹介と製品紹介を掲載し、インターネットを通じた会員企業製品の需要喚起に努めた。

※PL保険・包装機械総合保険への団体加入

ユーザー工場等において機械・機器の運転時または保守の際に、製品の欠陥に起因する物損事故や人身事故に備えるため、本年度も引き続き、会員を対象としたPL保険（国内、海外）および国内総合保険への団体加入を促進して会員企業の経営安定化に努めた。

それぞれの保険の加入社数は次の通りである。【加入合計141社】

- ・国内PL保険 計81社
- ・海外PL保険 計45社
- ・包装機械国内総合保険 計15社

## （8）特許研究会

平成28年1月に海外への流出防止を目的に不正競争防止法の改正に伴い、情報漏洩の罰則が強化され、企業は自社の営業秘密流出ばかりでなく、流入に対しても細心の注意を払わなければならなくなった。そのため、特許研究会（委員長：井上敬一氏（トキワ工業株式会社取締役技術部長）では不正競争防止法の内容について、

独立行政法人工業所有権情報・研修館から講習を受け、会員企業に対する啓蒙に努めた。

※「営業秘密・知財セミナー」の開催

第一回 東京会場

月 日：平成28年7月5日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

講 師：（全会場の講師）古田 恵夫 氏

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）

知的財産戦略アドバイザー

第二回 名古屋会場

月 日：平成28年7月14日（木）

会 場：愛知県産業労働センター

第三回 大阪会場

月 日：平成28年7月15日（金）

会 場：大阪商工会議所

#### （9）IT委員会

IT委員会（委員長：結城喜世貴氏 株式会社ユーキ社長）は当会ホームページを逐次リニューアルし、当会会員企業、ユーザー業界をはじめ広く一般に対して、当会の各種事業・情報ならびに関係官公庁からの各種情報の速やかな提供に努めた。

併せて、JAPAN PACK 2017 ウェブサイトについては和文、英文、中文の公式サイトを立ち上げ、国内外に向けて同展への出展勧誘に努めた。また出展者検索システムの構築について検討した。

※第12回IT委員会

月 日：平成28年8月2日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

#### 4. 生産性向上設備投資促進税制ならび中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は平成26年1月にスタートした生産性向上設備投資促進税制（平成28年3月31日までの約3年間）の証明書発行団体として、平成26年2月から証明書の発行を開始し、本年度の発行数は3,481通（対前年度比8通増）であった。累計の証明書発行数は9,864通で、その内訳は正会員6,801通、賛助会員1,069通、非会員1,994通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行（3,481通）の内訳は次の通りである。

正会員 2,410通（証明書発行手数料は1通に付 2,000円）

賛助会員 424通（ 同上 ）

非会員 647通（証明書発行手数料は1通に付 10,000円）

また平成28年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体と

して、平成28年8月から証明書の発行を開始し、本年度の発行数は769通であった。その内訳は正会員554通、賛助会員75通、非会員140通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行（769通）の内訳は次の通りである。

正会員	554通	（証明書発行手数料は1通に付 2,000円）
賛助会員	75通	（ 同上 ）
非会員	140通	（証明書発行手数料は1通に付 10,000円）

## 5. 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

## 6. 関連産業との交流等に関する事業

包装機械産業の発展を目的として食品関連産業、製パン・製菓産業、包装関連産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業の関連産業との交流・情報交換を推進した。

## 7. 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

## 8. 会員の現況

平成29年3月31日現在の会員数は正会員130社、賛助会員107社、合計237社となっている。平成28年度の入会、退会の状況は次の通りである。

### 1) 入 会

<正会員 3社>

株式会社ダイケン、株式会社ユニバック、株式会社インターナショナル三興

<賛助会員 10社>

東洋紡株式会社、テクマン工業株式会社、Unifiller Japan 株式会社、株式会社日立産機システム、青木工業刃物株式会社、株式会社イチネンケミカルズ、株式会社光文堂、イワキパックス株式会社、オートメイトッド・パッケージング・システムス・ジャパン合同会社、株式会社タナックス

### 2) 退 会

<正会員 1社>

株式会社精工

<賛助会員 1社>

第一大宮株式会社

### 3) 会員登録の変更

株式会社カジワラ（梶原工業株式会社から登録の変更）

